

令和５年度市民提案型ごみ減量活動等補助金 交付決定一覧

資料 1

1. 先進的ごみ減量等モデル事業

1. 先進的ごみ減量等モデル事業

				(円)	(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	補助申請額	事業費	交付決定額
1	生ごみ堆肥化	6丁目生ごみ堆肥の会	生ごみを焼却せずに堆肥化することにより、家庭から排出される生ごみの減量・地球温暖化防止・資源の有効活用を図る。家庭から排出される生ごみ及び生垣の剪定くずを堆肥化し、協力者の家庭菜園等で活用する。	79,075	79,075	79,075
		代表 佐々木 重規				必要額
2	地域の竹で生ごみコンポスト【ごみ減量と地域循環】	山城ごはん	鹿背山の竹を細かく粉碎した「竹チップ」を基材にしたコンポストを制作。家庭から排出される生ごみを、竹チップコンポストへ投入しごみの減量化を目指す。竹チップの制作過程や使い方の講習会等を開催し、実践者１００世帯を目指す。	300,000	389,000	300,000
		代表 堤 明日香				上限額
3	フードバンク木津川	特定非営利活動法人 手をつないで	フードバンク事業の理念を一般家庭に周知すると共に、食品ロスの削減にも繋がっていることを知っていただく。また、食品メーカーにも同様の理解をいただく。今年度は、11,000点の食品寄贈を目標とする。	300,000	312,322	300,000
		理事長 破石 俊夫				上限額
4	食とモノのRe-bornプロジェクト	kichi_lab_art	(A)「もってけドロボー蚤の市」(目標：利用者1,080人 54日開催×20人) 古くても良い物を募集し、SNSでの情報発信や会場での展示により必要な方へつなげる。 (B)エシカルカフェ「わんこいん食堂」(目標：利用者120人 3日開催×40人) 木津川市産の規格外野菜を使った夕ご飯をわんこいん(大人500円、子ども100円)で提供。また、賞味期限間近の食材を寄付してもらう「フードドライブ」で提供された食材を活用し提供することによりフードロスを減少する。食堂で排出した生ごみを堆肥化し、キチキチ農園での野菜の育成に活用し食堂の食材として活かす。	300,000	371,588	300,000
		代表 加藤 史江				上限額
5	制服のアップサイクル	きづがわ制服リユース(旧イマール)	昨年度に不要になった制服の回収を行い、制服等約130点の補修やクリーニングによるアップサイクルを実施しました。今年度は有償(クリーニング代)で希望者に向けて譲渡会を開催し、将来的な団体の自立を目指します。また、今年度も制服のリユースを推進し、廃棄される制服を減少させます。活動に協力してくれる学校を増やして活動を広げていく。	300,000	365,331	300,000
		代表 川崎 あき				上限額
小計				1,279,075	1,517,316	1,279,075

2. 地域内ごみ減量等推進事業

2. 地域内ごみ減量等推進事業

				(円)	(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	補助申請額	事業費	交付決定額
6	自分たちのために、未来のために 使い捨てない暮らし方 ～私たちにできること～	木津川市こどもエコクラブサポーターの会	適正に循環・処理されずに自然界に放出されるプラスチックを減らすことの重要性を 広く市民、事業者に伝える。給水スポットを街中に増やすことで、使い捨て容器以外 の選択肢を増やし、日常からマイボトルを持ち歩きやすいまちを作る。 1) 一昨年度からスタートした給水スポット協力店舗・事業所をさらに募る。（目標 8店舗追加） 2) イベントでマイボトルの携帯を呼びかけ、メリットを伝える（200名）。	100,000	109,740	100,000
		代表 立花 志保				上限額
小計				100,000	109,740	100,000

3. 地域型ふれあい収集事業

				(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	補助申請額	交付決定額
	申請無し				
小計				0	0

(円)	
補助申請額合計	1,379,075
事業費合計	1,627,056
交付決定額合計	1,379,075